

講義録レポート

講義録コード

03-22-4-02-[3] - [0] [2]

講座	税理士	科目	財務諸表論
目標年	2022年合格目標	テキスト	No. (3)
コース	基礎マスター	回数	第 (2) 回
用途	ビデオブース WEB通信 ・ DVD通信 ・ Webフォロー ・ 音声DLフォロー		

収録日	2021 年 10 月 14 日		
講師名	的場 宏大 先生	板書	4 枚 ※レポート含まず (名称/該当教材)
		その他	1 枚 補助レジュメ (名称/該当教材)
			枚

授業構成	講義 ミニテスト解説 ソフトウェア、研究開発	⇒	講義 税効果会計	⇒	講義 税効果会計
------	------------------------------	---	-------------	---	-------------

実施テスト	【 ● 】ミニテスト	テキストNo.(3)第(2)回	テストでの正誤
	【 】実力テスト		
	【 】その他 ()		【 】あり 【 ● 】なし
	【 】なし		【 】問題
	実施時間 (10) 分		【 】解答用紙
			【 】解答解説

使用教材	【 ● 】基本テキスト No.(3)	該当ページはテキスト内の コントロールタワーをご覧ください
	【 ● 】トレーニング No.(3)	【 】理論テキスト
	【 】ポイントチェック	【 】その他()

配布教材	【 】基本テキスト No.()	【 】ポイントチェック
	【 】トレーニング No.()	【 】理論テキスト
	【 】トレーニングシート No.()	
	【 】テスト帳合レジュメ <講義録添付なし> ()	
	【 】別途配布レジュメ <講義録添付あり> ()	
	【 】その他 ()	

備考	* ビデオブースにてご視聴の方へ 正確な講義時間につきましては、DVDケースの背表紙下に記載されていますので適宜ご確認下さい。 (例) ①51 記載の場合、前半講義 51分 (答練・演習の場合は、解説もしくは事前講義 51分を表します)		

補助レジュメ：No.3-2

◎ 税効果会計の概要

(1) 会計（目的：業績力の算定）

収益	10,000
費用	4,000
<hr/>	
税引前利益	6,000

(2) 法人税法（目的：課税の公平）

益金	10,000
損金	2,000
<hr/>	
所得	8,000

法人税等（ ）

当期純利益

◎ 繰延法と資産負債法

ex) 期末商品 1,000 につき、評価損 200 を計上したが、税務上損金経理されないため税効果会計を適用する。なお、当期の法定実効税率は 40% であり、翌期に施行される税率（将来税率や予測税率ともいう）は 42% である。

・ ケース 1（繰延法の場合）

・ ケース 2（資産負債法の場合）☞ 制度上採用されている方法

◎ 将来減算一時差異に係る会計処理

(1) 税務上計算された法人税額…3,200 千円
（実際支払額）



…あるべき姿になるように調整！

(2) 会計上計上すべき法人税額…2,400 千円

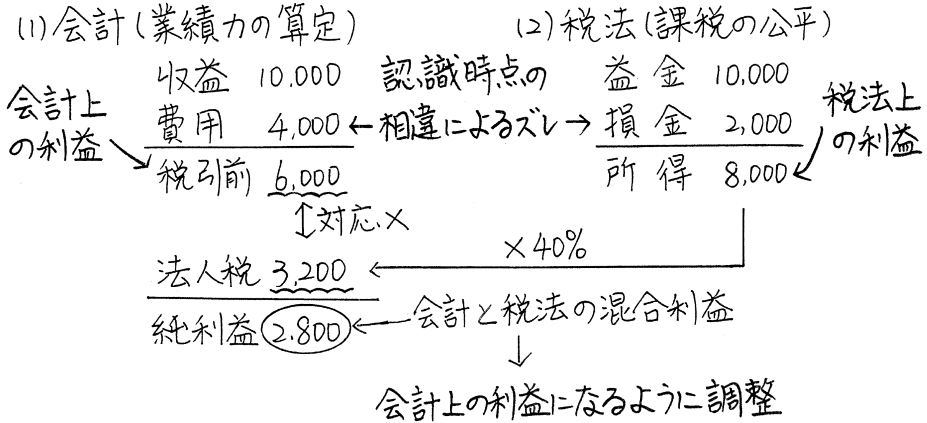
税 理 士 講 義 録	コース講義等	基礎マスター	科 目	財務諸表論	回 数	テキストNo.3 第2回
-------------	--------	--------	-----	-------	-----	-----------------

配布物	★ テ ス ト 類 : []	講 師	的 場 先生
	★ その他の配布物 1 : []		
	★ その他の配布物 2 : []		

黒 板 内 容

1. すべて資産計上
- ↓
2. 資産計上 OR 費用処理の選択
- ↓
- ③ すべて費用処理

② 税効果の概要 (P.12)



税 理 士 講義録	コース講義等	基礎マスター	科 目	財務諸表論	回 数	テキストNo.3 第2回

配布物	★テスト類 : []	講 師	的場 先生
	★その他の配布物1 : []		
	★その他の配布物2 : []		

黒 板 内 容

①繰延法と資産負債法(P.23)

ex) 評価損 2001 につき損金経理されなかつた
 当期税率: 40% 将来税率: 42%

・ ケース1

$$(\text{会}) 200 - (\text{税}) 0 \times 40\% = 80$$

永久差異を除く

・ ケース2

$$(\text{税}) 1,000 - (\text{会}) 800 \times 42\% = 84$$

②将来減算一時差異の会計処理(P.29)

(1) 税務上の法人税 …… 3,200

(実際支払額) ↓ ……あるべき姿になるように調整!!

(2) 会計上の法人税 …… 2,400

前払費用 800 / 法住事 800
 繰延税金資産 法人税等調整額
 ()
 () ()

3年分の保険料600
 費用600 / c 600
 前払400 / 費用400

税 理 士 講 義 録	基礎マスター	科 目	財務諸表論	回 数	テキストNo.3 第2回
				コース講義等	

配布物	★ テ ス ト 類 : []	講 師	的 場 先生
	★ その他の配布物 1 : []		
	★ その他の配布物 2 : []		

黒 板 内 容			
<p>◎ P 37</p> <p>① 前期末残 繰上税資産・負債 高は全て 解消される → T/B 4,700 4,700</p> <p style="margin-left: 100px;">11,000 ← ② 改めて当期末分 を全て計上する</p>			
繰上		法 調	
T/B 4,700	4,700	4,700	11,000
① 全て解消 → T/B 40,000		繰上	
T/B 40,000	40,000	40,000	48,000
48,000 ← ② 当期末分 を全て計上		48,000	
T/B 40,000		繰上	
T/B 40,000	8,000	8,000	8,000
8,000 ← ① 前期と当期の 差額を計上 (120,000 - 100,000) × 40%		8,000	

<h1 style="margin: 0;">税 理 士 講 義 録</h1>	<small>コ ー ス 講 義 等</small>	基礎マスター	科 目	財務諸表論	回 数	テキストNo.3 第2回

<small>配 布 物</small>	★ テ ス ト 類 : []	<small>講 師</small>	的場 先生
	★ その他の配布物 1 : []		
	★ その他の配布物 2 : []		

黒 板 内 容	
$ \begin{array}{r l} \hline T/B \ 1,200 & 1,200 \\ 800 & \\ 640 & \\ \vdots & \\ \hline \end{array} $	$ \begin{array}{r l} \hline 1,200 & \\ 800 & \\ 640 & \\ \vdots & \\ \hline \end{array} $